

目標	ご意見の概要	ご意見への対応	
		当該目標における対応	関連目標への反映
1 高度分野・先端的人材育成	グローバル化に対応して、コミュニケーション能力の中の英語対応が求められているが、その取り組みが必要ではないか。	1 (2)ものづくりの高度化のための人材育成・・・P30 新規に、海外ビジネスに関する知識・スキルやコミュニケーション能力を有するグローバル化に対応した人材を育成することとし、計画に記載しました。	
	(建築の) 高度な技術・技能の継承が難しい。その技術を継承する企画をしても若い人が集まってくれない。	1 (3) 高度熟練技能の継承・熟練技能者の育成・・・P30 「とやま技能継承塾」, 「熟練技能出前講座」, 「技能エキスパート・データベース」, 「認定職業訓練」の事業を行い、技能の継承に努めます。 1 (4) 将来のものづくり産業を担う人材の育成・・・P30 「ものづくり中核校」の開校、「ナビゲーター」の配置、「ものづくり活動」の後援により、将来の技能者の育成に努めます。	5 (1) 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備・・・P40 優れた技能や技能者に触れる機会の創出し、技能の継承に努めます。 5 (3) 若者のものづくりマインドの醸成・・・P41 学校段階からものづくりに触れる機会や技能の取得機会の創出を通じて、将来のものづくり技能者へのマインドの醸成に努めます。
2 産業構造の変化に柔軟に対応する人材育成	介護・福祉分野では、単に採用する数だけの問題ではなく質の問題について取り組む必要がある。介護を受ける側の立場に立ってサービスを提供できる人材を育成するなど質を上げていかないと、一番困るのは介護を受ける人達である。	2 <個別分野の人材育成について>・・・P32 求人ニーズ、利用者ニーズに対応した職業訓練を充実するなど、人材の資質向上に努めます。	4 (2) 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援・・・P38 求人ニーズも踏まえた訓練の質の確保を図ります。
	今後ニーズが高まり、子育て・少子化対策としても職業として成り立つ可能性も考えられる「家事代行サービス業」についてもヒントを与えるようなものを計画の中に組み込めないか。		
	高い雇用吸収力が見込まれる分野の中で、健康・環境・観光があるが、環境・観光のイメージがわからない。施策をどう描いていくのか。即効性がないのではないかと思う。観光創造未来塾などどんな役割を果たすのか深彫りする必要がある。観光・環境に力を入れるのであれば、どれだけ伸ばす余地があるか、パイがあるか関係業種に働きかける必要がある。	2 (2) 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成・・・P32 今後ニーズが高まっていく分野については、県内の人材ニーズに対応したカリキュラムの見直し、新たな訓練科目の導入、指導員の指導力向上などにより適時対応していきます。	
第9次で新しく、ものづくり以外に高い雇用吸収力が見込まれる分野にも着手するのであれば、もう少し医療、介護・福祉についてきちんとした柱立てや詳細なものが必要である。	2 (2) 高い雇用吸収力が見込まれる分野の人材育成・・・P33 <個別分野の人材育成について>において、介護・福祉分野等の分野について記載してあります。		
3 キャリア職業形成生涯支援を通じた充実	女性は時間的制約があるので、少しの時間を活用したwebでの職業訓練などを検討していただきたい。	3 (3) 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援・・・P35 web等に限らず効率的な職業訓練の実施により、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた在職者訓練に努めます。 3 (5) 特別な支援を要する者の能力開発の推進と就職支援・・・P36 母子家庭の母等に応じた職業能力開発の機会の提供するなど、訓練を受講しやすい環境整備に努めます。	
	ものづくりに関してのキャリア形成の支援しか見えてこないのが、介護・福祉、看護といった分野についても若い人が早い段階から触れ合う機会があってもいいのではないか。 小学校等の早い段階から、職業に対する多くの情報を与え、いろんな選択ができるようにすべきだ。	3 (1) 学校教育段階からのキャリア教育の充実・・・P34 ものづくりに限らず、多様な職種の仕事体験の場を提供し、職業観の向上、職業選択の拡大に努めます。	
4 ティーネットとしての職業能力開発の推進	文系・事務系の職業能力についても、雇用の拡大に関連させた、職業能力開発という観点から計画の中に組み込めないか。	4 (2) 求人ニーズや労働市場の情勢を踏まえた職業訓練の機会の提供と就職支援・・・P38 離転職者のニーズに応じた多様な職業訓練の機会を提供するとともに、求人側のニーズも踏まえた訓練の質の確保に努めます。	3 (3) 企業の在職者に対する体系的な職業能力開発への支援・・・P35 企業の在職者に対するオーダーメイド型の在職者訓練の充実に努めます。
5 技能の振興・ものづくりを支える機運の醸成	技能士の資格は社会的には認められていない。報いられるようなものであれば、人が集まると思う。	5 (1) 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備・・・P40 技能検定制度の一層の普及と制度の着実な実施、優れた技能に触れる機会の創出、卓越した技能を有する者に対する表彰の実施等により技能者の地位向上に努めます。	
	技術者に比べ、技能者の処遇は低い。そういったところに企業も一緒になって考えていくべきだ。		
	知事賞や富山県ものづくり大賞などの賞を作る場合、一つ一つに重みを持たせることが大切である。 製造業においては、高度・先端的なものづくりに従事する人より、工場のラインにおいて従事する人が大半である。その方々が働く喜びを感じることのできる環境整備が必要ではないか。製造業従事者に対しての県の職業能力開発の計画の中でどのような視点をもっているのか聞きたい。	5 (1) 技能振興、技能労働者の地位向上のための環境整備・・・P40 卓越した技能者を有する者や優秀な訓練生への知事表彰を実施するなど、技能者の地位向上のための環境整備を図ります。 5 (2) 技能者が意欲的に技能向上に取り組むための環境整備・・・P40 新規に、全国大会の技能競技に係る上位入賞者に対する顕彰制度を創設する等、技能者の意欲向上のための環境整備を図ります。	1 (1) 先端的なものづくり分野の人材育成・・・P29 富山県ものづくり大賞を実施し、企業を顕彰します。
その他	人口減少による労働力の減少の中で、障害者や女性にも働く場を与え、それぞれの能力を活かしながら、どのように日本の経済を支えるかという議論が先行すると考える。魅力ある富山県としてのイメージがないと、いかに人づくり、ものづくりといっても県民には見えてこない。	職業能力開発計画は、職業能力開発促進法に基づき、「技能労働力等の労働力の需給の動向を把握し、職業能力の開発について講じようとするもの」とされています。魅力ある富山県、住みたい富山県の方向性については総合計画で策定しているところであり、産業の育成については各分野での計画で策定しています。	
	住みたい富山県、地域づくりは民間では方針が立てられず、行政に求めるものであると思う。産業を育成するという供給側についても計画の中に組み込んでほしい。	別紙のとおり整理しました。	
	課題等と6つの施策の関連性を分かるように整理してほしい。		
	社会情勢に対応して、計画の重点を変更していくには、どれかを特化して先導していくことも必要ではないか。第9次計画の中では、気運を醸成するところ、支援するところ、先導するところと考えていく必要があるのではないか。	本県はものづくり県であり、引き続きものづくり分野の人材育成を重点として柱立てしているが、第9次職業訓練計画には、経済動向や求人ニーズに対応した成長分野についても施策の柱としたところ。また、職業計画の中で、県が行うこと、支援すること、企業が行うことなどに整理して記載しました。	